

# なのはな

NPO法人 なのはな  
◇あおぞらキンダーガーデン  
◇まほろば  
◇わとと・あおぞら  
〒420-0961 静岡市葵区北226-1  
TEL/FAX 054-246-2213  
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp  
npn-mahoroba@uv.tnc.ne.jp  
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

～春の出会いの季節に～

4月は、12月の中でも一番「新しい出会い」にピッタリの季節ですね。  
「NPO法人なのはな」にとっても4月は、新しい出会いとなりました。

★ 1つは、4月から城東子育て支援センターの運営を行なうことになったことです。(正式結果は、静岡市のホームページの「指定管理者の選定結果」をご覧ください) 駅南で行なってきた「わとと・あおぞら」に次ぐ、2つ目の子育て支援事業です。特徴は、

- ① 臨床発達心理士が3日間フロアに常駐して『気軽に』子どもの事を相談・話しが出来ることです。
- ② 「一緒に散歩」「一緒にうたおう」「一緒におはなし」など言葉を余り持たない子ども達とのコミュニケーションの楽しさを乳幼児の大好きな『一緒に』の活動を中心に計画していることです。
- ③ 開所時間は、9時から16時で、親子でお昼をとれます

そして、機関紙のなまえは「あんと」

ちいさな子どもたちが、ありがとうのかわりに「あんと」とよく遣う言葉です。「生まれてきてくれてありがとう・出会えてありがとうの気持ちに親がなれたら子どもの笑顔は、溢れ幸せになれます」一人でも多くの親がそんな気持ちになって子育て出来たらいいなという願いからです、

わとと・あおぞら同様よろしく申し上げますね。

★そして、あおぞらキンダーガーデンは、創立20周年のスタートです。

これも出会った子ども達・親たちそして、応援してくださっている多くの皆様のおかげだと心より感謝しています。

4月の新しい子ども達との出会いがスタートします。今年の1年の子ども達・大人達と出会いをスタッフ一同ワクワク・ドキドキ楽しみにしています。

今年度も、未来を切り拓き「人間として生きていく力を育てる」教育・保育・子育ての理論を深め、子ども達に安心出来る生活・豊かな文化(あそび・学び)を創り、子ども達の笑顔が溢れるよう活動を進めていきたいと思っています。

あたらしいNPO法人なのはなの1年どうぞよろしく申し上げます

理事長 岡村由紀子

# あおぞらだより

## 春の出会い、子どもの笑顔

あおぞらキンダーガーデンは、あたらしいお友達を迎える喜びにときめき、この日が来るのを楽しみにしていました。

新しい出会いは、未来を予測してワクワク・ドキドキ心を躍らせる反面、不安もあるのは、大人も子どもも同じですね。

でもこの不安も4月、5月と月日を重ねていくうち緊張が解けて笑顔が増えていく姿も、毎年の子どもの姿です。長く子ども達と一緒にいて、どんな魔法があるのかな？と思うのですが「とにかく慣れることだよ」「休ませないこと」「バシッ！ということだよ」なんて気の利いた言葉や魔法の一言もなくノウハウも無いのです。それでも「何かあるのでは？」と再び聞かれたら、保育者には「子どもが笑顔になる時間を見つけ出して少しずつ増やすこと」親達には「ぎゅっと抱きしめて大丈夫だよ」と送り出すことかな？と伝えます。

共通するのは、『どんな姿を見せても、子どもの価値を見つけ愛すること』だと思います。そして、大人の関係がよければ子どもの笑顔は、早く溢れてくる事も実感します。

新しいお友達は、今日が生まれて初めて「社会」へデビューです。

大人の方が、緊張していらっしゃるのでは、ないでしょうか？

親とは、我が子が生まれたその日から、子どもの行動を喜んだり・悲しいことも含めて「一緒」を共有する営みです。

一緒にいるからこそ我が子のいいところも困ったところも知れるのですね。

たくさんの溢れる情報の中から『我が子に必要なもの・大切なものを選択する力』こそ親力と言われるものです。その力が身につけてくると子育ては、楽しく感じる事が出来るのです。勿論、その時間は、一人一人違ってきます。

いいところも、困った事もみんな丸ごと受けとめるのは、そう簡単なことでない事は、実感されているのではないのでしょうか。

子育ての心配や不安は、話すことで2分の1に嬉しいことは、2倍になります。

園は、みなさんと出会ったその日から、子育てのパートナーとして子育て中の親達と一緒に歩いていきたいと考えています。

生まれて出会った命。大切に大切に育てましょう。

どうぞよろしくお願いします。

子育ては、

ゆっくり、じっくり、丁寧に そして優しく ですね。

## まほろばの部屋から

しくお願いします。

2013年度が始まりましたね。

2002年から始まったまほろば活動。なんと丸々10年が経ったということになります。

“気になる子” “発達障害”という言葉があまり知られていない頃から始めた活動ですが、世間の状況はこの10年で大きく変わりました。

気になる子どもたちの“安心できるいいところ”になれるようにと続けてきた活動は、ちょこちょこ形を変えながらも、ずっと同じ思いで続けてきています。

その思いがどういう風に子ども達に、お母さん・お父さんに、保育者の方達に伝わっていつているのか、それを考える、振り返る1年にして、これからの10年のスタートにしていきたいです。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

<ハル>

赤い羽根 助成金今年もいただきました。ありがとうございます！！

このたび、平成24年度の『赤い羽根共同募金』からの寄付金の交付が決定しました。今年で4年目となります。ありがとうございます。

- ・ いただいた金額 360,000 円
- ・ 使いみち 『育児不安に悩む親の相談支援事業』



今年度も、主にわとと・あおぞらを会場に、

お悩み事別 子どもの行動が気になるママ集まれ／子育てよろず相談／親子教室「ころころ」の3つを開催します。日程が決まり次第またお知らせ

## わとと・あおぞら

元気なときも・・・息抜きしたいときも あそびに来てね

「一日中子どもと二人っきりだと、しんどくて～。昨日近所のママ友に “大丈夫？すごーく疲れているように見えるよ！”と言われ、もう限界！！と思い、家のことそのままで来ちゃいました。」

「うんうん、そうかあ～」と話をきいていくと、

パパの帰宅が毎晩遅く、祖父母も遠くて、家のことや歩きはじめて目の離せない子どものこと、

「私がホッとできる時間がなくて～、ここに来ると子どももよく遊んでくれるんです。」

スタッフとお茶を飲みながら、今は子ども中心だものね、家事は手抜きでいいよね・・・

一時保育でママのリラックス時間を持つてみる？とあれこれ話し、ママもだんだん笑顔に・・・

翌日も遊びに来て、「昨日は話せてよかった～、すこしすっきりしました。」と

毎日忙しい育児、初めてのお子さんだとなおさら。

お茶飲みながら、息抜きしに来て下さいね。

<かよ>

# あおぞらキナーガーデン20周年YEAR

あおぞらキナーガーデンが、今年で創立20周年となりました。「子どもの笑顔を探して」と小さな小さな思いが産声をあげ、止まることなく歩み続けられてきたのは、応援して下さった皆様と子ども達の笑顔でした。心を込めて、ありがとうございました。

そこで、皆様への感謝と未来につながる1年となるよう「あおぞらキナーガーデン20周年YEAR」と名づけ下記のような企画を進めております。ぜひ皆さまご参加下さい。

- ★ H25年8月 あおぞらセミナー 対象：保育者、教師など専門職  
保育のみならず職員集団・保護者集団などあおぞらの丸ごとが分かるセミナーを企画中です。
- ★ H25年12月 子育て講演会 対象：父母  
あおぞらの「保育と子育て」が分かる笑いと涙の講演会です。
- ★ H26年1月18日 14時半「森は、いきている」劇団なかま（40人編成の大掛かりな舞台劇です）  
静岡市民文化会館 中ホール 子ども（高校生まで）3900円 大人 4900円（前売りは、4月からです）  
対象：ストーリーが分からなくても生の劇は、感性を丸ごと揺すぶられ、小さい子から大人まで見ごたえ十分です。保育者や教育者の専門職としての感性を磨く機会にもなりますので是非多くの方の参加をお待ちしています。（劇中で歌われる「たきび」のうたは、園でも唄っています）
- ★ H26年3月 「ありがとう パーティー」 対象：大人  
皆様に感謝を込めて！



ようちえん いやや / 長谷川義史 作・絵 童心社

4月になって、新しく幼稚園に入園してきた子どもたちやクラスを進級した子どもたちにこの絵本を読むと、

『いやや〜』のことばに大笑い。

『だってシールがいやなんだもん』のことばにふふふっと笑うよ。

み〜んな集まってきてじっくりみえています。

「ばかじゃん」なんて言っているのは年長さん。

自分の小さいころを思い出してちょっと恥ずかしい気持ちになるのかな??

『いやや〜』の気持ちがたっぷりわかる年中さん年長さん。

みんなの気持ちをたのしい絵本にしてくれています。

ただ『おかあちゃんといちにちいっしょにいただけなんや〜』

ほんと、その通りって感じなのでしょうね。

(あやこ)